

古い認知症観

(他人事、他者視点、問題重視、疎外、絶望)

- ① 他人ごと、なりたくない、目をそらす、先送り
- ② 認知症だと何もわからない、できなくなる
- ③ 本人は話せない／声を聞かない
- ④ おかしな言動で周りが困る
- ⑤ 危険重視、過剰制限しても仕方ない
- ⑥ 周囲が決める
- ⑦ 本人は支援される一方、負担の存在
- ⑧ 地域で暮らすのは無理
- ⑨ 認知症は恥ずかしい、隠す
- ⑩ 暗い、萎縮、あきらめ、絶望的



新しい認知症観

(わがこと、本人視点、可能性重視、ともに、希望)

- ① わがこと、お互いさま、向き合う、備える
- ② わかること、できることが豊富にある
- ③ 本人は声を出せる／声を聞く
- ④ 本人が一番困っている。本人なりの意味がある。
- ⑤ あたりまえのこと（人権）重視。自由と安全のバランス
- ⑥ 本人が決める（決められるように支援）
- ⑦ 本人は支え手でもある。経験者として大切な存在
- ⑧ 地域の一員としてともに暮らす ＊施設入所後も
- ⑨ 認知症でも自分は自分、自然体でオープンに。
- ⑩ 楽しい、のびのび、あきらめず、希望がある